

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【147】
2. 日時：令和4年4月14日 10時00分～11時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、伊藤原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他13名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当 他1名※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

- (1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、コリウムシールドの設計及び原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書等について、令和4年2月7日及び4月8日の提出資料に基づき説明があった。

- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【コリウムシールドの設計】

- コリウムシールドを構成する耐熱材等の各部材を示す用語（例えば、耐熱モルタルとモルタル等）の統一を検討すること。また、各部材の用語を定義した上でコリウムシールドの厚さ、基本厚さ、製造公差及び測定方法等との関係を整理して説明すること。

【原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書】

- 原子炉建物原子炉棟の水素挙動の解析について、解析ケース3の説明に「さらに、原子炉建物原子炉棟内の水素濃度が2.5vol%に到達した場合～格納容器ベントを実施する運用としており」とあるが、本解析ケースでは格納容器ベントは使用されていないため、記載を検討すること。また、解析ケース3の水素濃度の時間変化（原子炉建物原子炉棟全域）のトレンドにおいて、PARによる水素処理開始の時間を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし